

# 中学校国語

A問題 平均正答率：73.5%（全国：75.8%） 平均無解答率：2.7%（全国：2.6%）

B問題 平均正答率：63.6%（全国：65.8%） 平均無解答率：2.7%（全国：2.2%）

## 分類・区分集計結果

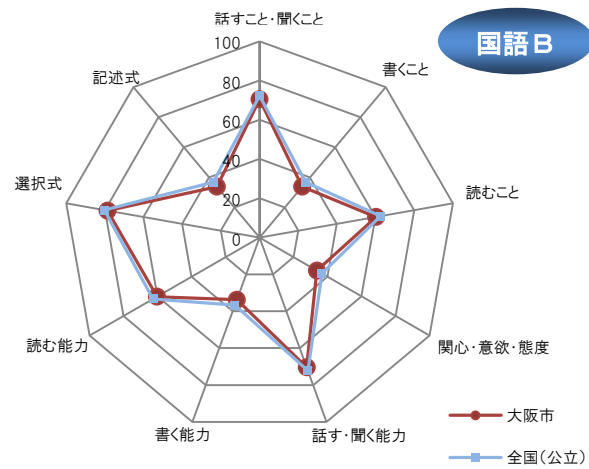
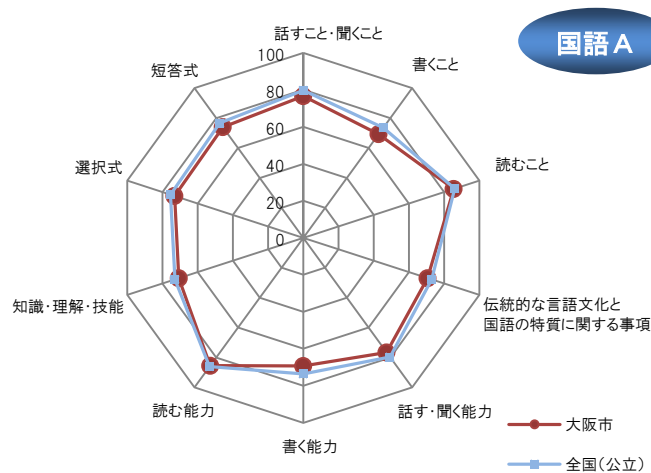
分類	区分	A問題（全33問）			B問題（全9問）		
		H27 対象 設問数	平均正答率(%)		H27 対象 設問数	平均正答率(%)	
			H27 大阪市	H27 全国		H27 大阪市	H27 全国
学習指導要領の 領域	話すこと・聞くこと	4	76.6	79.7	3	70.4	72.2
	書くこと	5	69.3	73.6	3	33.8	36.7
	読むこと	5	85.5	86.1	6	60.3	62.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	19	70.7	72.9	0	—	—
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0	—	—	3	33.8	36.7
	話す・聞く能力	4	76.6	79.7	3	70.4	72.2
	書く能力	5	69.3	73.6	3	33.8	36.7
	読む能力	5	85.5	86.1	6	60.3	62.6
	言語についての知識・理解・技能	19	70.7	72.9	0	—	—
問題形式	選択式	23	73.2	75.5	6	78.6	80.3
	短答式	10	74.0	76.7	0	—	—
	記述式	0	—	—	3	33.8	36.7

### 領域・観点・問題形式別の状況は概ね全国と同傾向

■ A問題では、「書くこと」「書く能力」の項目で低い値を示しています。

■ B問題では、「書くこと」「記述式」等の項目で低い値を示しています。

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合があります。



### 設問から見られる具体的な成果と課題

- 【国語A】 ◇ 「文脈に即して漢字を正しく読むこと」にがんばりが見られます。
- ◆ 「単語の種別について理解すること」「手紙の書き方を理解して書くこと」に努力が必要です。
- 【国語B】 ◇ 「表現の工夫について自分の考えをもつこと」「効果的な資料を作成し、活用して話すこと」にがんばりが見られます。
- ◆ 「複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くこと」に努力が必要です。

# 中学校数学

A問題 平均正答率：62.0%（全国：64.4%） 平均無解答率：4.0%（全国：3.7%）

B問題 平均正答率：40.1%（全国：41.6%） 平均無解答率：16.1%（全国：15.3%）

## 分類・区分集計結果

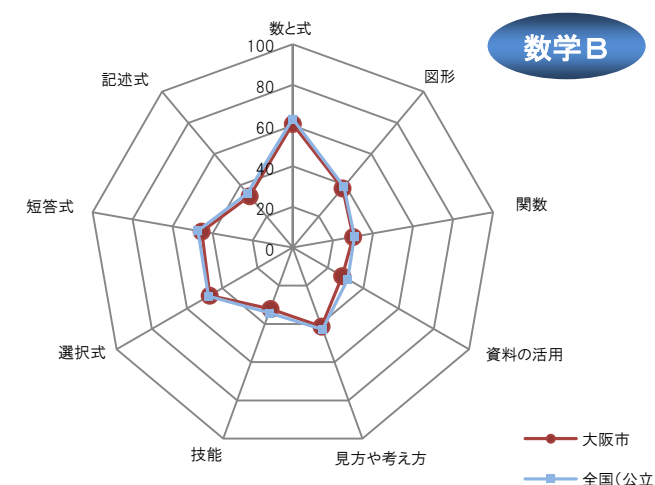
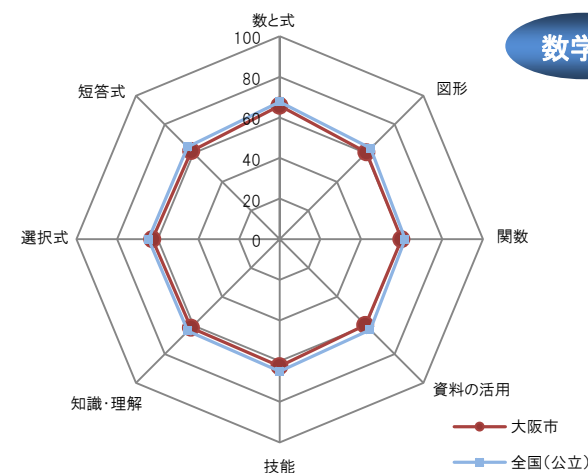
分類	区分	A問題（全36問）			B問題（全15問）		
		H27 対象 設問数	平均正答率(%)		H27 対象 設問数	平均正答率(%)	
			H27 大阪市	H27 全国		H27 大阪市	H27 全国
学習指導要領の 領域	数と式	12	65.7	67.7	4	60.8	63.2
	図形	12	60.5	63.4	4	38.0	39.0
	関数	8	60.0	61.7	5	30.1	30.7
	資料の活用	4	59.7	63.0	2	28.0	31.2
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	—	—	0	—	—
	数学的な見方や考え方	0	—	—	13	41.3	42.8
	数学的な技能	17	62.5	65.0	2	32.1	34.2
	数量や図形などについての知識・理解	19	61.6	63.9	0	—	—
問題形式	選択式	19	62.6	64.6	4	47.2	47.9
	短答式	17	61.4	64.2	4	45.5	47.4
	記述式	0	—	—	7	33.0	34.8

### 領域・観点・問題形式別の状況は概ね全国と同傾向

■ A問題では、各分類・区分別の平均正答率は概ね60%であり、バランスの良い状況です。「関数」「資料の活用」の項目でやや低い値を示しています。

■ B問題では、「関数」「資料の活用」等の項目で低い値を示しています。

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合があります。



### 設問から見られる具体的な成果と課題

- 【数学A】 ◇ 「比の意味の理解」「一次式の減法の計算」にがんばりが見られます。
- ◆ 「数量の関係を文字式に表すこと」「証明の必要性と意味の理解」に努力が必要です。
- 【数学B】 ◆ 「事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明すること」「資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること」に努力が必要です。